

風疹

発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。

風疹に感受性のある妊娠20週ころまでの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、出生児が先天性風疹症候群を発症する可能性があります。男女ともにワクチンを受けて、風疹の流行を抑制し、感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要です。



潜伏期間

14～21日程度(平均16～18日)



感染させるおそれのある期間

発疹の出現する1週間前から発疹出現後1週間くらいまで



感染経路

・飛沫感染



症状

症状がある期間：子どもの発疹：1～3日

(大人の女性の関節炎や関節痛：3～10日)

・発熱、発疹、リンパ節腫脹(耳介後部、後頭部、頸部など)

※発熱：風疹患者の約半数にみられる程度です。

※発疹：淡紅色で、小さく、皮膚面よりやや隆起しており、全身に広がるにはさらに数日間を要することがあります。

※リンパ節腫脹：発疹の出現する数日前より腫れはじめ、3～6週間くらい持続します。

妊娠20週ころまでの妊婦が感染すると、風疹ウイルス感染が胎児におよび、先天異常を含む様々な症状を呈する先天性風疹症候群を発症することがあります。



治療法

対症療法(発熱、関節炎などに対する解熱鎮痛剤など)



予防法

・予防接種